

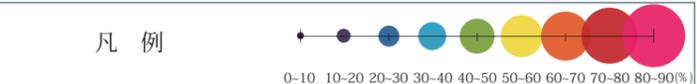


# みなさまの声を反映して

Result of The Questionnaire about The Urban Design Lab Magazine.

## マガジン読者アンケート Questionnaire

今回、マガジン史上初の試みとして実施した読者アンケート。急ではありましたが、研究室内外の方々から回答をいただきました。アンケートにご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



Q16 今までの記事で印象に残ったものは何ですか？

- 夏の旅行記 (←245号) ・西村先生の旅行に関する記事 (←245号)
- 西村先生へのインタビュー (←232, 245号など)
- 北沢先生特集 (←230, 235, 242, 248号)
- 喜多方訪問 (←248号)
- 忘年会の開催詳細、特に北沢先生がお話されていたときの号など
- メンバーのバックグラウンドと研究テーマの紹介

Q17 今後扱ってほしい内容はありますか？

- 授業やプロジェクト以外の研究活動 ・学生の生活実態 ・日常的内容
- 個人的な旅をしている人からの都市デザインの現地報告 ・あの留学生はいま
- 卒業生の卒論・修論・博論のタイトルを全部載せてマッピング
- かつての都市アザ研教員総特集 ・丹下研発足時からの全歴史
- 最終年の西村先生特集

Q18 ご意見・ご提案があれば、お願いします！

- 毎号掲載の読み物があつたら面白いかなと思いました。
- 負担をなるべく軽減しつつ、最新の情報をタイムリーに発信できる方法をトータルで考えた方が良いと思います。
- 研究室が広報誌を編集発行し、なおかつ継続していること自体が、とても素晴らしいことだと思います。



それはどういう点で感じますか？

- 寄をてらうわけでもなく、読みやすい ・図が効果的
- 担当の人の個性がある程度出ているところが面白い
- 写真がもう少し大きいといい ・もっと写真多めで読みやすくしたい
- 詰め詰め ・余白少ない ・ごちゃごちゃしている



それはどういう点で感じますか？

- インタビューが興味深い ・いつも目を向けていない部分に注目できる
- 学生からの世の中の見え方が面白い
- 在籍しているだけではわからない都市デザイン研の広がりを知ることができる
- 数年前のようなユーモアや、様々な視点からの記事が欲しい



どのように変えると良いと感じますか？

- 通常号だけでもいい ・発行頻度は隔月程度でも良い
- 特集号があるときは通常号が無くてもいいのではないかなと思う
- 通常号は月1〜2回固定で定期的に出し、特集号は通常号の発行スピードとは関係なく季刊や長期休業中に出すほうがよいのではないかな



どのように変えると良いと感じますか？

- TwitterやFacebookで宣伝 ・フィードバック、レスポンス、シェアができる
- もう少し学部生が読みやすいところに置いてもらいたい
- 紙で配るのもいいかな。PDFでも十分だと感じることもある
- 年に一回特集号込みで冊子化するのいいのではないかな



## 先生からの通信簿 Report Card of Magazine

「先生からの通信簿」と題して教員の方へお願いしたアンケート。かつての企画にあやかり、都市デザイン研究室の教員5名から、5段階評価の「通信簿」とコメントをいただきました。

|                      |                                |  |                       |   |   |
|----------------------|--------------------------------|--|-----------------------|---|---|
|                      |                                |  |                       |   |   |
| 記事の分かりやすさ            | 5                              | 5  | 4                     | 4   | 5   |
| テーマのおもしろさ            | 5                              | 5  | 4                     | 4   | 5   |
| レイアウトの見やすさ           | 5                              | 5  | 2                     | 4   | 5   |
| 記事の分量                | 4                              | 5  | 3                     | 3   | 4   |
| 発行ペース                | 5                              | 5  | 5                     | 2   | 4   |
| 総評                   | 5                              | 5  | 4                     | 4   | 5   |
| 印象に残った記事があれば教えてください  | やはり、北沢先生のことを特集した号が印象深かったです。    | この2年間だと、やはり北沢先生関連のインタビュー連載です。  | 北沢先生特集シリーズ            |   | 「伝え方」の著書 - 237号   |
| 改善すべき点や、ご提案をお聞かせください | ネット上での情報発信と、マガジンとの関係がややわかりにくい。 | 自費出版になるかと思いますが、来年度中に書籍にしたたいです。   | 編集部の主張がもっと出るといいと思います。 | いつもものすごい情報量と内容に感心しています。しかしながら、もう少し負担を軽減される方向でもいいかと感じています。 | 時間を決めて、やる。そこだけです。例えば、1人15時間×編集者3人＝のべ45時間の中で、どこまでクオリティを上げられるか。限られた時間で最大限の成果を発揮する。そんなスタイルだとおおよいと思います。 |
| 編集部に一言お願いします         | 特にありません。いつもありがとうございます。         | 研究室のためにこのような活動にここまで力を入れてくれてる学生たちには頭が下がるというのが本音です。とにかく自由によってもらえればと思います。 | 聞く前に自問自答せよ。           | 忙しい中、本当にお疲れ様です。   | たまに「記者の個性」が感じられる書きぶりを見つけては、ニヤっとしながら読んでいます。個性が散りばめられた紙面を引き続き期待します！                                   |

## より良いマガジンへ

今回みなさまから頂いたご意見は一つ一つ真摯に受け止め、より良いマガジン作りの参考にさせていただきます。ここでは、アンケートの結果を受けて編集部が今後重点的に取り組みたい改善方針を2つを示します。

### ■文字を大きく、ゆとりある紙面構成。

1つ目は、文字が小さいという課題。特に通常号では、限られた紙面のなかでどうしても中身を詰めがちになり、結果として文字が小さく、そしてレイアウトも余裕のないものとなっています。今後、通常号においては、▽内容そのまま用紙サイズを増やす、▽特集号との緩急を明確にし、盛り込む内容を厳選する、といった方法で分量を適正化し、ゆとりある紙面構成を目指します。

### ■SNSを活用、発信力の強化・拡充を。

2つ目は、発信に関する課題。今回のアンケートで、webマガジンによる情報発信が効果的に行われていないということが明らかになったほか、SNSなどを活用した情報発信を求める声も多数受けました。今後、都市デザイン研究室のTwitterをはじめとするSNSと積極的に連動したタイムリーな情報発信体制を整えることを検討します。

\* \* \*

今回のアンケートでは、編集部の負担を心配する声を多く頂きました。初期と比較してマガジンのボリュームは増しており、最近では定時発行が守れなくなっているなどの弊害が生じているのは事実です。これまでの伝統をしっかりと受け継ぎつつも、安定してマガジンをみなさまにお届けできるよう、記事の内容や紙面の構成を柔軟に見直してゆきます。

博士 / 修士 / 卒業論文 & 卒業制作 審査会！  
The Final Presentation of Thesis and Diploma Design  
1月末から2月に、博士、修士、学部学生の論文 / 設計の審査会がありました。皆さま、お疲れ様でした!!  
詳細は3月特集号で掲載予定です。

**徐 妍**  
中国雲南省景邁山におけるプーアル茶の文化的景観の変遷と保存管理に関する研究

**川田さくら**  
中山間地域における地域自治と集落の関係性に関する研究 - 島根県雲南市 海潮地区・波多地区に着目して -

**黒本 剛史**  
小田原市中心市街地における「体験創造型商店」の立地要因に関する研究 - 店主の地区選好と立地選択に影響する界限性に注目して -

**越野あすか**  
地域構造と所有・流通から見た歴史的市街地における空地の実態に関する研究 - 福井県坂井市の旧三国町地区を対象として -

**砂塚 大河**  
都市空間における個人的滞留に関する研究 - 都心三区の大規模民間開発により生み出された公共的空間に着目して -

**中井 雄太**  
地方鉄道駅を拠点とする住民活動団体の生成と連携に関する研究 - 小湊鉄道沿線を対象として -

**森下 暢彦**  
既成市街地における旧農業水路空間の残存・利用実態に関する研究 - 川崎市菅地区を対象として -

**王 誠凱**  
近代以降の市街化履歴に着目した城下町縁辺部の空間形態に関する研究 - 長野県松本市中央四丁目・埴橋一丁目を対象街区として -

凡例 & 日時 / 場所

|               |                  |  |
|---------------|------------------|--|
| D 博士論文        | M2 修士論文          | B4 卒業論文 / 制作                             |
| 2/22 @806 会議室 | 1/30-31 @141 講義室 | 2/13- 論文 - @141 講義室<br>2/14- 制作 - @二階製図室 |

**但馬 慎也** (論文) / **篠原 尚哉** (制作)  
多摩田園都市開発における非駅前拠点計画の変遷と現状 / 風土が交差する舞台

**清水 浩晃** (制作) / **中戸翔太郎** (制作)  
Park to Park / 団地ノ庭園 (ダンチ ノ ニワソノ)

**福本 遼子** (制作) / **神蔵 由芽** (制作)  
EAST TOKYOを繋ぎする連なる「川床」による神田川の再生 / OUT OF THE BOX - 働く場の再考 -

## Information

2月のウェブ記事  
三国 PJ 今年初の三国訪問！  
神田 PJ 小学校で子供たちと万灯を作りました  
ぜひご覧ください！ <http://ud.t.u-tokyo.ac.jp/ja/blog/>

3月の予定  
3/5 三国 PJ 三國漢まちづくりフォーラム  
3/7-8 カトマズ PJ 黒島調査訪問  
3/23 追いコン！  
3/27 研究室大改造、実行日!!

## ✦ 編集後記 神谷 安里沙

就職活動を始めたばかりなのですが、今回250号の振り返りで昔からのOB・OG記事を追っていくと様々な分野に進まれた先輩方の記事に出会い大変興味深かった一方、もっと早く読んでいればよかったと後悔しきりです。若干手遅れかもしれませんが、再来年度、自分がやりたいことに取り組んでいることを目標に頑張ります。